



新体制による26人の議員（議場にて）

■ 議員名簿 新体制26人でスタート	P 2 ~ P 3
■ 9月定例会	
各会計決算総括表	P 4
一般会計補正予算、請願、意見書、同意案、 政務活動費収支報告	P 5
質疑・一般質問（7人）	P 6 ~ P 9
12月定例会開催予定	P 9
議決結果	P 10 ~ P 11
賛否表	P 11
■ 10月臨時会 役員改選結果	P 12



©稲沢市 いなッピー

稲沢市議会議員一般選挙が執行されました 新しい議員を紹介します

- ①氏名(年齢)・期数
(合併前の期数)
- ②住 所
- ③電話番号
(10月1日現在)

(議席順に掲載)



4

黒田哲生(43)・1期
祖父江町祖父江高熊1番地
0587-97-0046



3

北村太郎(41)・1期
北島三丁目99番地
0587-36-5193



2

平野賀洋子(40)・1期
平和町西光坊新町90番地
0567-46-0480



1

杉山太希(29)・1期
西島二丁目96番地
080-8857-4598



8

大津丈敏(69)・3期
高御堂二丁目19番8号
0587-32-4458



7

服部礼美香(46)・2期
井堀下郷町75番地
0587-36-2966



6

津田敏樹(45)・2期
祖父江町三丸淵上丸淵64番地
0587-97-0355



5

近藤治夫(63)・1期
北市場本町三丁目1番地2
0587-32-4320



12

志智 央(32)・2期
祖父江町森上本郷九56番地1
フォレスト203
090-4239-4726



11

富田和音(64)・1期
祖父江町山崎明島57番地
0587-97-2811



10

岡野次男(51)・1期
下津片山一丁目2番地
ミッドレジデンス稲沢1113
0587-24-3362



9

加藤孝秋(63)・3期
井之口北畑町118番地
0587-32-8598



16

木村喜信(69)・4期
奥田白山町26番地1
0587-22-0248



15

吉川隆之(72)・3(1)期
祖父江町山崎鶴塚284番地
0587-97-3620



14

東野靖道(72)・3期
下津片町31番地1
0587-23-2303



13

木全信明(64)・3期
稲島八丁目16番地
0587-32-3772

稲沢市議会だより



20

出口勝実 (69)・5(1)期
平和町上三宅芳山46番地
0567-46-3600



19

服部 猛 (71)・5(1)期
平和町東城郷内166番地
0567-46-0461



18

長屋宗正 (70)・5期
日下部西町二丁目43番地5
0587-21-8352



17

網倉信太郎 (76)・4期
祖父江町神明津2716番地
0587-97-4591



24

星野俊次 (44)・5期
駅前三丁目2番21号
0587-32-9905



23

遠藤 明 (53)・4期
西町三丁目1番22-806号
0587-22-5625



22

朽本敏子 (57)・5期
下津片町178番地1
0587-23-6274



21

六鹿順二 (68)・4期
正明寺二丁目7番26号
0587-21-2568



26

野々部尚昭 (49)・7期
平野町二丁目23番地
0587-32-7272



25

曾我部博隆 (65)・4(4)期
祖父江町本甲新明前75番地23
0587-97-6105

市民の代表として、稲沢市の発展と市民生活
向上のために邁進します。
これから4年間よろしくお願ひします。

当選回数・年齢別議員数

当選回数	議員数	年齢	議員数
1回	7人	25歳～29歳	1人
2回	3人	30歳～39歳	1人
3回	4人	40歳～49歳	7人
4回	5人	50歳～59歳	3人
5回	3人	60歳～69歳	9人
6回	2人	70歳～79歳	5人
7回	1人	平均年齢 57.1歳 最年少者29歳 最年長者76歳	
8回	1人		

※ 当選回数には、合併前(旧祖父江町、旧平和町)の回数を合算しています。
※ 令和元年10月1日現在

9月定例会開催

9月定例会は、8月20日から9月4日までの16日間の会期で行われました。

市長から条例関係議案20件、法定議決議案3件(内、1件最終日追加提案)、予算関係議案4件(内、1件冒頭議決)、認定議案11件の議案が提出されました。

提出された議案については、総務・文教厚生・経済建設の各常任委員会において審査しました。

また、市政全般に対する質疑・一般質問を7人の議員が行いました。

(主な質問及び答弁は6～9ページに掲載しています。)

最終日の採決の結果、すべての議案を原案どおり可決・認定・同意しました。

(30年度各会計決算については、下表のとおりです。)

各会計決算総括表

(単位:円)

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引 額
一 般 会 計		49,774,076,889	46,997,758,578	2,776,318,311
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	13,203,273,498	12,911,898,713	291,374,785
	介 護 保 険	9,107,302,874	8,703,481,376	403,821,498
	後 期 高 齢 者 医 療	3,200,077,876	3,123,461,400	76,616,476
	祖 父 江 霊 園 事 業	16,226,683	15,270,031	956,652
	稲 沢 西 土 地 区 画 整 理 事 業	632,450,472	204,509,557	427,940,915
	下 津 陸 田 土 地 区 画 整 理 事 業	132,545,290	132,545,290	0
	小 計	26,291,876,693	25,091,166,367	1,200,710,326
一 般 会 計 ・ 特 別 会 計 合 計		76,065,953,582	72,088,924,945	3,977,028,637

会 計 名			収 入 額	支 出 額	差 引 額
企 業 会 計	病 院 事 業	収 益 的	6,948,121,953	7,341,455,738	△ 393,333,785
		資 本 的	729,263,000	853,002,948	※1 0
	水 道 事 業	収 益 的	2,817,658,262	2,174,058,557	643,599,705
		資 本 的	348,318,111	1,966,243,613	※2 0
	公 共 下 水 道 事 業	収 益 的	1,884,887,327	1,868,469,987	16,417,340
		資 本 的	1,220,544,829	1,918,538,708	※2 0
集 落 排 水 事 業	収 益 的	315,933,178	391,291,906	△ 75,358,728	
	資 本 的	69,622,431	71,112,831	※3 0	

※1 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、建設改良積立金等で補填しました。

※2 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

※3 資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

稲沢市議会だより

一般会計補正予算

一般会計補正予算（第3号）は、5月16日に不燃ごみの処理中に発生した環境センターの火災事故により、停止している破砕処理施設等の施設復旧費として、1億円の増額となりました。

また、一般会計補正予算（第4号）は、1億467万3千円の増額となり、歳出の主な内容は次のとおりです。

○民生費
地域介護・福祉空間整備等事業費補助金
1585万円

○土木費
道路舗装改良工事費の増額
5000万円

公園整備工事費の増額
810万円

○教育費

東京2020オリンピック聖火リレー愛知県実行委員会負担金
110万円

※万円未満切り捨て

請願

次の請願について審議した結果、全会一致で採択しました。

請願第4号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願

意見書

9月定例会の最終日に意見書3件について、審議した結果、下記の1件を全会一致で可決し、9月4日付で内閣総理大臣等に提出しました。

意見書案第4号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

否決された意見書

意見書案第2号 子ども医療費助成制度の拡充等を求める意見書

意見書案第3号 最低賃金の地域間格差解消と更なる引き上げを求める意見書

同意案

次の方々の推薦、任命に同意しました。

○人権擁護委員

大島 弘己 氏

(下津蛇池町・再任)

○教育委員会委員

江本 弘子 氏

(東緑町・新任)

平成31年4月～令和元年9月分 政務活動費収支報告

(単位:円)

	創生会	誠和会	市民クラブ	日本共産党 稲沢市議会議員団	公明党 稲沢市議団
交 付 額	1,080,000	720,000	480,000	240,000	240,000
調 査 研 究 費	300,102	442,829	104,718		76,661
広 報 費	389,880	332,910		227,374	
資 料 購 入 費			29,484	10,760	26,028
合 計	689,982	775,739	134,202	238,134	102,689
残 (返 還) 額	390,018	0	345,798	1,866	137,311

※ 残余分については、市へ返還しています
※ 不足分については所属議員の個人負担です

日光川南部水路整備事業の今後について



平野寛和議員

Q 日光川南部水路は、平和(下起・西光坊)地区の市街化区域内の排水が集中する非常に重要な水路だが、老朽化や集中豪雨の増加による災害リスクが危惧される中、水路の保全・機能強化のため、整備事業が行われているが、現在の進捗状況は。

A 平成22年度から水路改修工事に着手しているが、平成28年度に石積み等から成る水路を撤去する際、隣接家屋への影響が懸念され中止した。翌年度に設計を修正し施工している。現在のバイパス路線については、178mのうち93m、本線水路は694mのうち331m、全体としては、872mの内424mが完成している。進捗率は48.6%である。

Q 今後の整備予定はどうか。

A 今年度は、引き続きバイパス路線を60m施工予定。来年度は、バイパス路線の残りと本線水路を施工する。事業完了は令和5年度を予定している。

Q 日光川南部水路の西側の支線排水路も老朽化しているが、整備計画はどうか。

A この水路管理は愛西市も関係し、整備について協議して進める必要がある。支線排水路西側で、県が法立西井筋の改修を計画中のため、日光川南部水路と法立西井筋の整備完成後に排水状況を確認し、整備の必要性の有無を判断したい。



自治体におけるSDGs推進のあり方について



遠藤 明議員

Q SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは何か。

※SDGs...Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称

A 今後の地球や社会を考えたときに、誰一人取り残さず、持続可能で幸せな社会を作っていくための国際目標。17のゴール(目標)と169のターゲット(達成基準)で構成されている。地球全体で実現するためには、国に加えて地域での取り組みが不可欠と考える。

Q 本市においてSDGsを推進するメリットは何か。

A 今年度「SDGs未来都市」に選定され、A-やICTなど先進技術の活用により日常生活の利便性向上、都市機能の効率的利用を進め、未来型の便利な田舎暮らしの実現を目指している。

Q 京都市では全70事業を推進しているが、国際都市だから積極的に取り組むことができるのか。また本市と近似的な規模の自治体での取り組み事例はあるか。

A 都市規模は関係ないと考える。事例では京都府舞鶴市



保育施策の充実について

Q 市は、公立保育園あり方検討委員会を立ち上げて民営化計画を進めるとしている。なぜ公立保育園の民営化、統廃合をすすめるのか、どこまで検討をしているか。

A 3歳未満児の入所希望は増加状況であったり、入所率が極端に低い保育園もある。保育を取り巻く環境が大きく変化しているため、公立保育園のあり方を検討し、計画を策定している。公立保育園の民営化、統廃合は施設の老朽化、保育ニーズに対応するため、進めべき課題だと考える。市立保育園あり方検討委員会も7月に立ち上げ、検討を進めている。

Q 財源がないから民間に任せるという意味だと思うが、



渡辺ちなみ議員

財政的な判断で統合されたらまちづくりができなくなる。統廃合されれば通園距離が遠くなり、保護者のニーズに対応出来なくなる。乳幼児が生活する保育園は1・5〜2kmの徒歩圏にあることが良いと言われている。車社会であっても歩いていける範囲が生活の範囲だと考えるがその見解は。

A

車による送迎が当たり前となっている中、小学校区を超え、通勤途中や職場に近い保育園を利用する等、自由に保育園を選ぶことが可能になっているため、徒歩圏に1施設が必要とは考えていない。



「子どもの登下校の安全をいかに守るか」について

Q 本市の防犯教育の現状は。毎学期の通学路点検の折に、教員が子どもと一緒に通学路を歩いて防犯上の危険箇所を子ども目線で確認をし、安全マップに反映させ、学校職員と子どもとで情報共有をしている。

A

Q

良い取り組みだが、子どもと保護者へ伝わっていない面もあるので周知徹底を。また、子どもに危機が迫った時に、実際にとった行動を調べると、約2割の子どもは恐怖で動けない。「声を出す」「逃げる」などを言い聞かせるだけでは充分でないことが分かってくる。より具体的に、ランドセルが重くて走れない時は捨てるなど伝える必要があると思う。

また、「迷子の犬と一緒に



志智 中央議員

探して」「お父さんが車にはねられた」など、子どもを誘う巧妙化する手口に対応できるようにロールプレイを用いた防犯教室を進めることも必要である。昨年度から、領内小学校で防災無線を用いた地域の見守り強化が始まった。どういったものか。

A

領内校区とスクールガードに向けて領内小学校の屋上にある防災行政無線機より、あらかじめ録音しておいた児童の声を放送した。



防災無線で呼びかける児童の声録音風景

「稲沢市コミュニティバス運行事業計画」の見直しについて



渡辺幸保議員

Q 今年度4月からコミュニティバス運行の見直しで、路線数、便数が減少した。見直し後の利用者数の変化、現状はどうか。

A 今年4月から7月までの利用者数は、幹線は前年度に比べ、若干増加した。支線は路線等の見直しがあり比較はできないが、一日の平均で本年は235人、昨年は279人であった。また、コミュニティバス接続便の月ごとの平均利用者は、本年は54人であり、昨年の14人から大幅に増加している。

Q 本市は、運行にかかる一人あたりの市負担額を設定し、1500円を超える路線については廃止も含めて見直すとしている。その結果、今年4月から平和、大里西線の一部で廃止があった。

人口の少ない地域を走るコースでは1500円を基準として適用すべきではないと考えるがどうか。

A 中部運輸局愛知運輸支局の情報提供を受けて基準値を設定した。今後も基準の項目の一つとして用いていく。

Q 高齢者の自動車事故や買い物難民を出さないためにも、一路線あたりの時間を短縮し、便数を増やし利用しやすくするべきでは。

A 利用状況や利用者及び市民アンケート、地域の要望など皆様方のご意見を参考にし、運行路線や停留所、時刻表の変更を検討する。



運行が見直されたコミュニティバス

病児・病後児保育事業について



服部礼美香議員

Q 以前質問した3年前と比較して、稲沢市における病児、病後児保育のニーズの推移は。

A 現在も引き続き、ファミリーサポートの預かり事業を活用して対応している。

A ファミリーサポートの利用実績は、平成28年が29件、平成29年が33件、平成30年が22件となっている。

Q 近隣市町の施設型での実施状況は。

A 一宮市をはじめ、津島市、犬山市、小牧市、清須市、あま市等、保育所や診療所、病院

等で実施している。

Q 多くの近隣市町が施設型を実施しているが、稲沢市でも市民病院や保育所などを利用し、実施すべきではないか。

A 現状を継続しながら利用ニーズに合わせて、施設型の調査、研究を進めていく。

Q 「子育て、教育は稲沢で！」と掲げている市長の考えは。

A 病気の子どもを抱えた保護者の不安な気持ちを少しでも軽くできるよう、これまでのファミリーサポートに加え、施設型についても可能であるか検討していく。



都市計画マスタープランの描くビジョンについて

Q 今回策定された都市計画マスタープランの特色は、30年から40年後の都市構造ビジョンの中で、名鉄名古屋本線の高架事業を進めると明記した事であるが、その意図するところは何か。

A 国府宮駅周辺の再整備に係わるまちづくりを検討する際、鉄道による東西のまちの分断、危険踏切への対応、東西交通の渋滞といった課題の解消について方向性を示す必要があったため、30年から40年後の将来ビジョンとして名鉄名古屋本線の高架化を明記している。

Q 近年住居系市街地は増えていないが、今回のマスタープランで46haの新規増を目標に掲げている。これまでの反省を生かした新しい手法をいかに考えているのか。

A 住居系市街地の拡大については、地権者の考えによるところが大きい。私どもの思いが必ず届くものではなく、地権者の意識を変えるには、成功例の実績を顕在化させることが重要であると考えている。

これまでの反省を生かしつつ、民間事業者が業務を代行する土地区画整理事業など、官民連携による事業化等も考慮し、住居系市街地の拡大に尽力していきたい。



魚住 明議員



他市の鉄道高架の事例

会議録や本会議の映像をご覧ください

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、市立図書館や各地区市民センター内の図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようにしています。

この議会だよりに掲載している令和元年9月定例会の一般質問等の会議録は、11月上旬に配布及び掲載できる予定です。



また、会議録、本会議録映像は、市のホームページからご覧いただけるようになっていきます。是非、ご覧ください。

12月定例会開催予定

本会議は、市役所3階の議場で午前9時30分から始まります。次回開催の12月定例会会期日程(案)をご案内します。

12月	
4日(水)	開会
9日(月)	質疑・一般質問
10日(火)	質疑・一般質問
11日(水)	質疑・一般質問
12日(木)	質疑・一般質問予備日
13日(金)	総務委員会
16日(月)	文教厚生委員会
17日(火)	経済建設委員会
18日(水)	委員会予備日
19日(木)	委員会予備日
20日(金)	議会運営委員会
23日(月)	閉会

※日程は変更する場合がありますので、詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局

電話(直通)
(0587) 32-1459

FAX
(0587) 32-1124

9月定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果	
議案第 49号	令和元年度稲沢市一般会計補正予算（第3号）	全員賛成	可決
議案第 50号	稲沢市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の制定について	賛成多数	可決
議案第 51号	稲沢市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	賛成多数	可決
議案第 52号	稲沢市森林環境譲与税基金条例の制定について	賛成多数	可決
議案第 53号	稲沢市産業廃棄物処理施設の設置等に係る計画の事前協議等に関する条例の制定について	全員賛成	可決
議案第 54号	稲沢市表彰条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 55号	稲沢市職員退職手当支給条例等の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 56号	稲沢市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 57号	稲沢市印鑑条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 58号	稲沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 59号	稲沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第 60号	稲沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 61号	稲沢市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第 62号	稲沢市道路占用料条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 63号	稲沢市公共物管理条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 64号	稲沢市準用河川占用料条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 65号	稲沢市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第 66号	稲沢市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 67号	稲沢市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第 68号	稲沢市病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 69号	稲沢市消防団条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 70号	平成30年度稲沢市水道事業会計利益の処分について	全員賛成	可決
議案第 71号	和解について	全員賛成	可決
議案第 72号	令和元年度稲沢市一般会計補正予算（第4号）	賛成多数	可決
議案第 73号	令和元年度稲沢市介護保険特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	可決
議案第 74号	令和元年度稲沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
議案第 75号	粗大ごみ処理施設火災復旧工事の請負契約の締結について	全員賛成	可決

(認定)

認定第 1号	平成30年度稲沢市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第 2号	平成30年度稲沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第 3号	平成30年度稲沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第 4号	平成30年度稲沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成多数	認定
認定第 5号	平成30年度稲沢市祖父江霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成	認定
認定第 6号	平成30年度尾張都市計画事業稲沢西土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成	認定
認定第 7号	平成30年度尾張都市計画事業下津陸田土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	全員賛成	認定
認定第 8号	平成30年度稲沢市病院事業会計決算認定について	賛成多数	認定
認定第 9号	平成30年度稲沢市水道事業会計決算認定について	賛成多数	認定
認定第 10号	平成30年度稲沢市公共下水道事業会計決算認定について	賛成多数	認定
認定第 11号	平成30年度稲沢市集落排水事業会計決算認定について	賛成多数	認定

稲沢市議会だより

9月定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果	
(報告)			
報告第 12号	平成30年度決算に基づく健全化判断比率の報告について		
報告第 13号	平成30年度決算に基づく資金不足比率の報告について		
報告第 14号	債権放棄の報告について		
報告第 15号	専決処分の報告について		
(同意案)			
同意案第 4号	人権擁護委員の推薦について	全員賛成	同意
同意案第 5号	教育委員会委員の任命について	全員賛成	同意
(請願)			
請願第 4号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願	全員賛成	採択
(意見書)			
意見書案第2号	子ども医療費助成制度の拡充等を求める意見書	賛成少数	否決
意見書案第3号	最低賃金の地域間格差解消と更なる引き上げを求める意見書	賛成少数	否決
意見書案第4号	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	全員賛成	可決

9月定例会賛否表

議員名 議案番号	志智央	木全信明	服部礼美香	遠藤明	魚住明	大津丈敏	東野靖道	六鹿順二	津田敏樹	吉川隆之	加藤孝秋	朽本敏子	渡辺ちなみ	木村喜信	長屋宗正	杉山茂和	出口勝実	野村英治	平野寛和	網倉信太郎	服部猛	川合正剛	渡辺幸保		
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
議案第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第59号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
認定第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
意見書案第2号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
意見書案第3号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○

※ 全員が賛成した議案は記載を省略しています。 (○は賛成、●は反対)
 ※ 長屋宗正議員は議長のため採決には加わりません。

10月臨時会開催
新議長・副議長決まる

10月11日に臨時会を開催し、議長・副議長をはじめとする役員改選を行いました。

議長 六鹿順二



副議長 遠藤明



また、次の方の選任に同意しました。

○監査委員 加藤孝秋
(議会選出)

編集／広報広聴委員会

新しい常任委員会委員等の構成

◎委員長 ○副委員長

常 任 委 員 会			議会改革推進 特別委員会	議会運営委員会 (議員政治倫理審査会兼務)
総務委員会	文教厚生委員会	経済建設委員会		
◎星野俊次 ○津田敏樹 北村太郎 黒田哲生 加藤孝秋 志智央 服部猛 出口勝実 六鹿順二	◎木村喜信 ○服部礼美香 近藤治夫 富田和音 木全信明 東野靖道 網倉信太郎 長屋宗正 曾我部博隆	◎朽本敏子 ○吉川隆之 杉山太希 平野賀洋子 大津丈敏 岡野次男 遠藤明 野々部尚昭	◎東野靖道 ○加藤孝秋 北村太郎 黒田哲生 富田和音 志智央 吉川隆之 木村喜信	◎服部猛 ○木全信明 近藤治夫 津田敏樹 服部礼美香 大津丈敏 朽本敏子 星野俊次

広 報 広 聴 委 員 会	◎長屋宗正 木村喜信 星野俊次	○東野靖道 服部猛	岡野次男 朽本敏子
---------------	-----------------------	--------------	--------------

※市議会だよりの編集、発行は下線の委員のみ

土地開発公社役員	監 事	加藤孝秋
	理 事	杉山太希 網倉信太郎 遠藤明 曾我部博隆
都市計画審議会委員		平野賀洋子 近藤治夫 富田和音 吉川隆之 野々部尚昭
国民健康保険運営協議会 公益代表委員		平野賀洋子 津田敏樹 岡野次男 志智央 木村喜信

稲沢市議会だより

発行／稲沢市議会

地球環境保護のため、再生紙を使用しています。

